

感染症内科

上平朝子

当院は平成9年4月にエイズ治療の近畿地方ブロック拠点病院に選定され、診療、研究、情報発信、教育研修の4つの機能を求められている。当院のHIV患者数は、毎年1年間で200名前後の新規患者が受診し、平成27年3月末現在、当院のHIV感染症累計患者数は約2900名を超えている。入院累積患者数は3400名以上となり、外来・入院ともに診療患者数は年々増加している。当科では、HIV感染症に関する多様なニーズに対して、医師、看護師、薬剤師、カウンセラー、情報担当官、ソーシャルワーカーらでチーム医療を実践している。現在の診療内容は、HIV感染症が全体の9割近くを占めており、その他は免疫疾患、一般感染症（一類、二類を除く）などである。

「主な診療、研究」

日和見感染症に対する治療や予防の進歩と抗HIV療法の確立によってエイズによる死亡者数は減少した。当科では、ニューモシスチス肺炎、サイトメガロウイルス感染症、カンジダ症、クリプトコッカス髄膜炎、非結核性抗酸菌症など多彩な病原体による日和見感染症の診療を行っている。新しい抗HIV薬が次々と承認され、最新の治療を提供している。平成26年度の初回治療レジメンで、最も多かったのは一日一回のインテグラーゼ阻害薬の新薬であった。抗HIV療法は、患者の予後を改善し、HIVの流行を抑えることが報告され、治療の早期化と重要性が高まっている。また、各種合剤の開発によりSTR（single tablet regimen）が可能となり、服薬の負担も軽減されるようになってきた。しかし、長期間にわたり正確な内服を継続しなければならない抗HIV療法の身体的、精神的負担、HIV関連以外の悪性腫瘍合併例の増加、糖尿病や心・腎合併症など生活習慣病への対応、長期予後の改善に伴い長期療養先の確保など課題も続いている。H25年度より、身体症状の緩和と精神的なケアを目的に、多職種による専従のチームを設置し、がん患者のみに提供していた緩和ケアをエイズ患者にも行っている。また、抗HIV薬の治療効果や副作用の調査及び検討、HIV関連の悪性腫瘍や神経疾患、免疫再構築症候群、急性HIV感染症などの難治性病態についての臨床研究や症例検討、ウイルス肝炎（HCV、HBV）とHIVとの重複感染についての症例研究などを行い、厚生労働科研などを通じ、多施設との共同研究にも参加している。また、日本エイズ学会や日本感染症学会を始めとした多くの学会における発表や、論文発表を行っている。

「情報発信、教育研修」

HIV感染症は、病原体も感染経路も予防方法も明らかであるにも関わらず蔓延している。日本では、30～40歳代の若者を中心に患者数が増加している。HIV感染症の早期発見と予防のために、病気についての正しい知識を幅広く提供している。現在、ブロック拠点病院である当院にHIV感染症患者が集中していることから、中核拠点病院を始め

とした各拠点病院と連絡会議や研修会を行い、連携を強化している。HIV 診療のレベルの向上や人材育成を図るために、専門医師養成実地一ヶ月研修（講義・病棟実習）、各種専門職研修など多数の研修会を実施している。また、各種マニュアルや冊子を作成し配布している。HIV エイズ先端医療開発センターのホームページからも、最新の情報発信を行っている（<http://www.onh.go.jp/khac/>）。さらに、HIV 患者の長期療養や一般医療の必要性も高まっており、地域の医療機関や訪問看護との連携も積極的に行っている。症例相談、針刺し等の職務感染防止への対応、生活療養支援など、さまざまな相談にすみやかに対応できる体制を目指している。

【2014 年度研究発表業績】

A-0

Eguchi S, Takatsuki M, Soyama A, Hidaka M, Nakao K, Shirasaka T, Yamamoto M, Tachikawa N, Gatanaga H, Kugiyama Y, Yatsuhashi H, Ichida T, Kokudo N. Analysis of the hepatic functional reserve, portal hypertension, and prognosis of patients with human immunodeficiency virus/hepatitis C virus coinfection through contaminated blood products in Japan. *Transplant Proc.* 46(3):736-8. 2014 Apr

Katano H, Hishima T, Mochizuki M, Kodama Y, Oyaizu N, Ota Y, Mine S, Igari T, Ajisawa A, Teruya K, Tanuma J, Kikuchi Y, Uehira T, Shirasaka T, Koibuchi T, Iwamoto A, Oka S, Hasegawa H, Okada S, Yasuoka A. The prevalence of opportunistic infections and malignancies in autopsied patients with human immunodeficiency virus infection in Japan. *BMC Infect Dis.* 14:229. Published online 2014 Apr.

Kojima Y, Hagiwara S, Uehira T, Ajisawa A, Kitanaka A, Tanuma J, Okada S, Nagai H: Clinical outcomes of AIDS-related Burkitt lymphoma: a multi-institution retrospective survey in Japan, *Jpn J Clin Oncol.* 44(4):318-23, 2014 Apr.

Yajima K, Uehira T, Otera H, Koizumi Y, Watanabe D, Kodama Y, Kuzushita N, Nishida Y, Mita E, Mano M, and Shirasaka T: A case of non-cirrhotic portal hypertension associated with anti-retroviral therapy in a Japanese patient with human immunodeficiency virus infection. *J Infect Chemother.* 20(9):582-5, 2014 Sep

Yukawa S, Yamamoto S, Hara H : Carotid Artery Dissection Associated with an Elongated Hyoid Bone. *Journal of stroke and cerebrovascular diseases: the official journal of National Stroke Association* 23:8 ,Pages 411-2,2014 Sep

Ohnishi K, Sakamoto N, Kobayashi K, Iwabuchi S, Nakamura-Uchiyama F, Ajisawa A, Yamauchi Y, Takeshita N, Yamamoto Y, Tsunoda T, Yoshimura Y, Tachikawa N, Uehira T: Subjective adverse reactions to metronidazole in patients with amebiasis, *Parasitol Int.* 63(5):698-

700, 2014 Oct.

Ogawa Y, Watanabe D, Hirota K, Ikuma M, Yajima K, Kasai D, Mori K, Ota Y, Nishida Y, Uehira T, Mano M, Yamane T, and Shirasaka T. Rapid multiorgan failure due to large B-cell lymphoma arising in human herpesvirus-8-associated multicentric Castleman disease in a human immunodeficiency virus-infected patient. Intern Med. 53(24):2805-9, 2014 Dec

Yagura H, Shibata M, Kushida H, Yoshino M, Nakata I, Uehira T, Morita S. Y, Shirasaka T, Teraoka R, Kuwahara T, Kitagawa S : Thermal Stability of Tenofovir Disoproxil Fumarate in Suspension, Jpn. J. Pharm. Health Care Sci.40 (4) : 230-236, 2014

A-3

矢嶋敬史郎、白阪琢磨：連載 エイズに見られる感染症と悪性腫瘍（9）サルモネラ菌血症。「化学療法の領域」30(7)、医薬ジャーナル社、2014年7月

杉本彩、中水流正一、山田拓哉、上平朝子、細見尚弘、三田英治：急性膵炎に伴う脾動脈瘤に対してコイル塞栓術を施行した HIV 感染者の1例、膵臓 29(3):673-673、日本膵臓学会、2014年7月

吉岡巖、金宮健翁、木下竜弥、鄭則秀、原田泰規、上平朝子、白阪琢磨、岡聖次：抗 HIV 薬 Atazanavir 内服患者に発生した尿路結石症の検討。泌尿器外科 27(11):1823-1827、医学図書出版、2014年11月

満屋裕明、白阪琢磨、高田昇、塚原優己：Question 妊娠7ヵ月目のモデル・女優が職業の HIV 陽性の着年女性への対応。HIV 感染症と AIDS の治療 5(2): 52 -61、メディカルレビュー社、2014年11月

杉本彩、中水流正一、福富啓祐、日比野賢嗣、木村圭一、田村猛、坂根貞嗣、岩崎哲也、岩崎竜一郎、長谷川裕子、榊原祐子、山田拓哉、外山隆、石田 永、小川吉彦、矢嶋敬史郎、上平朝子、児玉良典、三田英治：肝生検で診断された AIDS 関連バーキットリンパ腫の2例、日本消化器病学会雑誌 111(suppl-1): 429-429、2014年12月

杉本彩、山田拓哉、福富啓祐、木村圭一、日比野賢嗣、岩崎哲也、岩崎竜一郎、長谷川裕子、榊原祐子、中水流正一、石田 永、上平朝子、森 清、三田英治：HIV 感染者に発症した消化管カポジ肉腫に対する肉眼型診断と病理組織診断との検討、日本消化器病学会雑誌 111(suppl-2): 973-973、2014年12月

笠井大介、廣田和之、伊熊素子、小川吉彦、矢嶋敬史郎、渡邊 大、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨：HIV 感染症患者に合併した結核に関する検討。日本呼吸器学会誌 4(1): 66-71、2015年1月

小川吉彦、小泉祐介、渡邊 大、廣田和之、伊熊素子、矢嶋敬史郎、笠井大介、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨：播種性Mycobacterium genavense感染症を呈したHIV感染症患者。感染症学雑誌89(2)：259-264、2015年3月

櫛田宏幸、富島公介、矢倉裕輝、吉野宗宏、廣田和之、伊熊素子、小川吉彦、矢嶋敬史郎、笠井大介、渡邊 大、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨：当院HIV感染症症例におけるニューモシスチス肺炎に対するアトバコンの使用状況。日本エイズ学会誌（印刷中）

A-4

渡邊 大：インテグラーゼ阻害薬耐性 HIV-1 変異株の出現。HIV 感染症と AIDS の治療 5(1):42-45、メディカルレビュー社、2014 年 5 月

廣田和之、森 清：エイズに見られる感染症と悪性腫瘍（12）サイトメガロウイルス感染症、化学療法の領域（Vol.30 No.10）、医薬ジャーナル社、2014 年 10 月

白阪琢磨：ガイドライン改訂の Points「DHHS ガイドラインについてー主な改訂ポイントを中心にー」。HIV 感染症と AIDS の治療 5(2):20-23、メディカルレビュー社、2014 年 11 月

白阪琢磨：第 4 章 治療と管理・対応「抗 HIV-1 療法: いつ、どのように開始するか」。最新医学別冊「新しい診断と治療の ABC65HIV 感染症と AIDS 改訂第 2 版」、最新医学社、2014 年 12 月

上平朝子：連載 エイズに見られる感染症と悪性腫瘍（14）進行性多巣性白質脳症。化学療法の領域 30(12)、医薬ジャーナル社、2014 年 12 月

白阪琢磨：抗 HIV 用薬。治療薬ハンドブック 2015、株式会社じほう、2015 年 2 月

小川吉彦、渡邊 大：エイズに見られる感染症と悪性腫瘍（24）「マルネツフェイ型ペニシリウム症」。化学療法の領域、医薬ジャーナル社、（印刷中）

渡邊 大：診断と治療のTopics「ドルテグラビルの臨床評価」。HIV感染症とAIDSの治療、メディカルレビュー社（印刷中）

A-5

白阪琢磨：HIV 感染症及びその合併症の課題を克服する研究。厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策研究事業）平成 24-26 年度総合研究報告書、P.7-27、2015 年 3 月

白阪琢磨：HIV 感染症及びその合併症の課題を克服する研究。厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策研究事業）平成 26 年度総括・分担研究報告書、P.7-16、2015 年 3 月

白阪琢磨：献血推進のための効果的な広報戦略等の開発に関する研究。厚生労働科学研究費補助金（医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業）平成 24-26 年度総合研究報告書、P.7-31、2015 年 3 月

白阪琢磨：献血推進のための効果的な広報戦略等の開発に関する研究。厚生労働科学研究費補助金（医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業）平成 26 年度総括・分担研究報告書、P.7-21、2015 年 3 月

白阪琢磨、上平朝子：HIV 感染症の医療体制の整備に関する研究。厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策研究事業）「近畿ブロックの HIV 医療体制整備」平成 25-26 年度総合研究報告書、P.52-66、2015 年 3 月

白阪琢磨：HIV 感染症の医療体制の整備に関する研究。厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策研究事業）「近畿ブロックの HIV 医療体制整備」平成 26 年度総括・分担研究報告書、P.50-61、2015 年 3 月

上平朝子：血液製剤による HIV/HCV 重複感染患者の肝移植適応に関する研究、厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策研究事業）「大阪医療センターにおける HIV/HCV 重複感染症例の検討」平成 26 年度総括・分担研究報告書、P.5-9、2015 年 3 月

上平朝子：HIV 感染者の長期予後を規定するエイズリンパ腫の全国規模多施設共同臨床試験の展開と包括的医療体制の確立、厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策研究事業）「HIV 感染者における形質芽細胞リンパ腫に関する研究」平成 26 年度総括・分担研究報告書、P.25-30、2015 年 3 月

渡邊 大：HIV 感染症及びその合併症の課題を克服する研究。厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策研究事業）「急性感染期の診断・治療での課題に関する研究」平成 24-26 年度総合研究報告書、P.29-34、2015 年 3 月

渡邊 大、HIV 感染症及びその合併症の課題を克服する研究。厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策研究事業）「急性感染期の診断・治療での課題に関する研究」平成 26 年度総括・分担研究報告書、P.17-21、2015 年 3 月

渡邊 大：国内で流行する HIV とその薬剤耐性株の動向把握に関する研究。厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策研究事業）「近畿ブロックにおける薬剤耐性 HIV の動向

調査研究」平成 26 年度総括・分担研究報告書、P.126-131、2015 年 3 月

A-6

白阪琢磨：DVD「HIV の職業曝露の予防と対策」監修・出演。公益財団法人エイズ予防財団制作医療従事者向け DVD、2014 年 5 月

白阪琢磨：医療とともに：Interview・この人に聞く 国立病院機構大阪医療センターエイズ先端医療研究部長、白阪琢磨さん エイズは今や治療得できる病気。毎日新聞 大阪朝刊、2014 年 11 月

白阪琢磨：透析医療者のための HIV 感染症の知識～長期療養時代を見据えて～」。鳥居薬品 第 59 回日本透析医学会学術集会・総会ランチョンセミナー15 記録冊子「医薬の門」54(5)2-6 (2014 年 11 月)

白阪琢磨：特集 2「新規 HIV 感染者は過去 2 位。新規 AIDS 患者は過去最多。伸び率が高いのは、50 代以上です」。健 43(9)22-23 (2014 年 12 月)

B-1

西田恭治、討論。遺伝子組換え血液凝固第 IX 因子製剤 BAX326 の適正使用推進のためのアドバイザーボード、オーストラリア、2014 年 5 月

西田恭治、ワークショップ I「関節症」・ワークショップ II「移行期」・ハイライト集の編集方針。12th Novo Nordisk Symposium on Haemostasis Management、オーストラリア、2014 年 6 月

西田恭治、世界の Hemophilia community が集まり、各国の問題点の共有や解決策について（討議）。Global Advisory Leadership Summit、スペイン、2015 年 1 月

B-3

白阪琢磨：HIV 感染患者の透析医療「透析医療者のための HIV 感染症の知識～長期療養時代を見据えて～」。第 59 回日本透析医学会学術集会・総会、神戸、2014 年 6 月

白阪琢磨：HIV 感染症は糖尿病や高血圧症のような慢性疾患です。第 59 回日本透析医学会学術集会・総会、神戸、2014 年 6 月

上平朝子：ワークショップ「感染症診療のクリニカル・パール：ADVANCED コース」。第 88 回日本感染症学会学術講演会・第 62 回日本化学療法学会総会合同学会、福岡、2014 年 6 月

矢嶋敬史郎、廣田和之、伊熊素子、小川吉彦、笠井大介、渡邊 大、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨：当院の HIV 陽性者における CMV 網膜炎症例の検討。第 88 回日本感染症学会学術講演会、福岡、2014 年 6 月

笠井大介、廣田和之、伊熊素子、小川吉彦、矢嶋敬史郎、渡邊 大、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨：HIV 感染者に発症した結核の臨床的検討。第 88 回日本感染症学会学術講演会、福岡、2014 年 6 月

白阪琢磨：医師の立場から「HAART の光と影、そして未来」。第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会 シンポジウム、大阪、2014 年 12 月

白阪琢磨：職業上の HIV 曝露後の感染予防策。第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会 シンポジウム「治療の手引き」、大阪、2014 年 12 月

森戸克則、白阪琢磨：薬害エイズ事件の教訓から いま振り返る HIV の医療と福祉。第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会 スカラシップ委員会企画、大阪、2014 年 12 月

渡邊 大：抗 HIV 治療のターニングポイント～ドルテグラビルの臨床的位置付け～（共催セミナー）「大阪医療センターにおけるドルテグラビルの使用経験」。第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会、大阪、2014 年 12 月

笠井大介、湯川理己、廣田和之、伊熊素子、小川吉彦、矢嶋敬史郎、渡邊 大、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨：大阪医療センターにおける HIV/HCV 重複感染患者の解析。第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会、大阪、2014 年 12 月

櫛田宏幸、冨島公介、矢倉裕輝、廣田和之、伊熊素子、小川吉彦、矢嶋敬史郎、笠井大介、渡邊 大、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨：Darunavir を含む治療時に持続する低レベルの血中 HIV-RNA を検出する症例に関する影響因子の探索。第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会、大阪、2014 年 12 月

小川吉彦、廣田和之、伊熊素子、矢嶋敬史郎、笠井大介、渡邊 大、西田恭治、上平朝子、岡田誠治、白阪琢磨：HIV 陽性者における PET (position emission tomography) 検査に関する後方視的検討。第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会、大阪、2014 年 12 月

上平朝子：抗 HIV 治療の進歩～STR(single tablet regimen)による服薬負担軽減の可能性～。日本性感染症学会第 27 回学術大会、神戸、2014 年 12 月

上平朝子：当院における CRE の検出状況と対策について。第 26 回日本臨床微生物学会総会・学術集会、東京、2015 年 1 月

笠井大介、渡邊 大：結核の確定診断が得られなかったHIV感染症患者に行った結核治療に関する検討。第90回日本結核病学会総会、長崎、2015年3月

上領博、後藤哲志、渡邊 大、白阪琢磨、大角晃弘、下内昭：HIV感染者における結核発病の罹患率とリスクについての検討。第90回日本結核病学会総会、長崎、2015年3月

B-4

笠井大介、廣田和之、伊熊素子、小川吉彦、矢嶋敬史郎、渡邊 大、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨：AIDS患者に合併した脳・髄膜結核の一例。第89回日本結核病学会総会、岐阜、2014年5月

笠井大介、廣田和之、伊熊素子、小川吉彦、矢嶋敬史郎、渡邊 大、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨：HIV感染症患者に発症した結核の臨床的検討。第88回日本感染症学会学術講演会、福岡、2014年6月

矢倉裕輝、吉野宗宏、廣田和之、伊熊素子、小川吉彦、矢嶋敬史郎、笠井大介、渡邊 大、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨：RaltegravirおよびEtravirineを粉砕法および簡易懸濁法を用いて経管投与した症例の薬物動態に関する検討。第88回日本感染症学会学術講演会、福岡、2014年6月

小川吉彦、廣田和之、伊熊素子、矢嶋敬史郎、木村剛、笠井大介、渡邊 大、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨：HIV感染者に発症したT-SOPT(R)TB陰性のリンパ節結核の一例。第88回日本感染症学会学術講演会、福岡、2014年6月

渡邊 大、鈴木佐知子、大谷成人、蘆田美紗、廣田和之、伊熊素子、小川吉彦、矢嶋敬史郎、笠井大介、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨、奥野壽臣：HIV感染者における水痘・帯状疱疹ウイルスに対する細胞性免疫と液性免疫の比較。第28回近畿エイズ研究会・学術集会、大阪、2014年6月

廣田和之、小泉祐介、湯川理己、伊熊素子、小川吉彦、矢嶋敬史郎、笠井大介、渡邊 大、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨：VP-shunt術が施行されたクリプトコッカス髄膜炎の1例。第28回近畿エイズ研究会・学術集会、大阪、2014年6月

小川吉彦、上平朝子：第12回症例から学ぶ感染症セミナー。第62回日本化学療法学会

西日本支部総会・第 57 回日本感染症学会中日本地方会学術集会・第 84 回日本感染症学会西日本地方会学術集会、岡山、2014 年 10 月

小島勇貴、岩崎奈美、矢永由里子、田沼順子、小泉祐介、上平朝子、四本美保子、味澤篤、萩原將太郎、岡田誠治、永井宏和：HIV 感染悪性腫瘍患者の終末期医療についての国内アンケート調査。第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会、大阪、2014 年 12 月

岡崎玲子、蜂谷敦子、服部純子、瀧永博之、渡邊 大、長島真美、貞升健志、近藤真規子、南留美、吉田繁、森治代、内田和江、椎野禎一郎、加藤真吾、千葉仁志、伊藤俊広、佐藤武幸、上田敦久、石ヶ坪良明、古賀一郎、太田康男、山元泰之、福武勝幸、古賀道子、岩本愛吉、西澤雅子、岡慎一、岩谷靖雅、松田昌和、重見麗、保坂真澄、林田庸総、横幕能行、上田幹夫、大家正義、田邊嘉也、白阪琢磨、小島洋子、藤井輝久、高田昇、高田清式、山本政弘、松下修三、藤田次郎、健山正男、杉浦亙：新規 HIV/AIDS 診断症例における薬剤耐性 HIV の動向。第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会、大阪、2014 年 12 月

渡邊 大、蘆田美紗、鈴木佐知子、湯川理己、廣田和之、伊熊素子、小川吉彦、矢嶋敬史郎、笠井大介、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨：残存プロウイルス量と抗 HIV 療法の治療期間との関連についての検討。第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会、大阪、2014 年 12 月

湯川理己、渡邊 大、廣田和之、伊熊素子、小川吉彦、矢嶋敬史郎、笠井大介、西本亜矢、矢倉裕輝、櫛田宏幸、富島公介、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨：国立大阪医療センターにおける ABC/3TC+RAL についての検討。第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会、大阪、2014 年 12 月

矢嶋敬史郎、矢倉裕輝、湯川理己、廣田和之、伊熊素子、小川吉彦、笠井大介、渡邊 大、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨：当院における Iivitegravir/Cobicistat/Tenofovir/Emtricitabine 配合錠の初回導入例に関する検討。第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会、大阪、2014 年 12 月

矢倉裕輝、櫛田宏幸、富島公介、西本亜矢、廣田和之、伊熊素子、小川吉彦、矢嶋敬史郎、笠井大介、渡邊 大、西田恭治、吉野宗宏、上平朝子、白阪琢磨：当院におけるリルピピリン塩酸塩の使用成績 第 2 報。第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会、大阪、2014 年 12 月

片野晴隆、比島恒和、望月眞、児玉良典、小柳津直樹、大田泰徳、峰宗太郎、猪狩亨、味澤篤、照屋勝治、田沼順子、菊池嘉、岡慎一、上平朝子、白阪琢磨：HIV 感染者の剖検例における日和見感染症と腫瘍の頻度。第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会、大阪、2014 年 12 月

富島公介、櫛田宏幸、矢倉裕輝、廣田和之、伊熊素子、小川吉彦、矢嶋敬史郎、笠井大介、渡邊 大、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨：ST 合剤の脱感作療法中に発現する過敏症の発現時期と投与法に関する検討。第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会、大阪、2014 年 12 月

星野慎二、長野香、宮島謙介、井戸田一朗、日高康晴、辻宏幸、白阪琢磨：若年層の MSM を対象にしたコミュニティスペース利用者のライフスタイルとメンタルヘルスに関する調査。第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会、大阪、2014 年 12 月

西川歩美、仲倉高広、下司有加、白阪琢磨：大阪医療センターにおける薬害 HIV 遺族健康診断の取組みを通じた今後の遺族支援の検討。第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会、大阪、2014 年 12 月

藤原良次、早坂典生、橋本謙、山田富秋、種田博之、藤原都、白阪琢磨：心理専門カウンセラーおよびピアカウンセラーの介入に関する研究。第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会、大阪、2014 年 12 月

廣田和之、渡邊 大、沖田典子、児玉良典、伊熊素子、小川吉彦、矢嶋敬史郎、笠井大介、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨：脳生検で CD8 陽性細胞の浸潤を認めた HIV 感染者の 1 例。第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会、大阪、2014 年 12 月

鍛冶まどか、仲倉高広、下司有加、東政美、鈴木成子、上平朝子、白阪琢磨：HIV 陽性者における内的自己・外的自己の意識化について。第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会、大阪、2014 年 12 月

仲倉高広、矢嶋敬史郎、白阪琢磨：血友病で HIV 感染症をもつ青年期男性の心理療法について～生き続けることを支える～。第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会、大阪、2014 年 12 月

安尾利彦、仲倉高広、白阪琢磨、山中京子：HIV 医療におけるカウンセリング機能の明確化の試みー仮想事例に対する援助方法に関する記述分析からー。第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会、大阪、2014 年 12 月

宮本哲雄、白阪琢磨：HIV 医療における「心の整理法」の有用性と導入時の両移転についての検討。第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会、大阪、2014 年 12 月

下司有加、多留ちえみ、長尾式子、白阪琢磨、宮脇郁子：HIV 陽性者の二次感染予防に関する認識と行動。第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会、大阪、2014 年 12 月

大谷ありさ、仲倉高広、安尾利彦、森田眞子、速見佳子、鍛冶まどか、宮本哲雄、西川歩美、廣常秀人、白阪琢磨：初診時より 1 年間における相談行動と定期受診・抗 HIV 薬

の飲み忘れに関する研究。第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会、大阪、2014 年 12 月

仲倉高広、宮本哲雄、鍛冶まどか、下司有加、白阪琢磨：関西と東海の HIV 陽性者における受診前、受診後の物質使用状況の把握。第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会、大阪、2014 年 12 月

池田和子、若林チヒロ、岡本学、渡部恵子、遠藤知之、伊藤ひとみ、伊藤俊広、川口玲、田邊嘉也、羽柴知恵子、横幕能行、高山次代、上田幹夫、下司有加、白阪琢磨、木下一枝、藤井輝久、城崎真弓、山本政弘、岡慎一、生島嗣：ブロック拠点病院と ACC における「健康と生活調査」－HIV 治療と他疾患管理の課題－。第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会、大阪、2014 年 12 月

大金美和、池田和子、若林チヒロ、坂本玲子、遠藤知之、伊藤ひとみ、伊藤俊広、川口玲、田邊嘉也、羽柴知恵子、横幕能行、山田三枝子、上田幹夫、下司有加、白阪琢磨、鍵浦文子、藤井輝久、城崎真弓、山本政弘、岡慎一、生島嗣：ブロック拠点病院と ACC における「健康と生活調査」－自覚症状とメンタルヘルス－。第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会、大阪、2014 年 12 月

岡本学、生島嗣、大金美和、坂本玲子、遠藤知之、伊藤ひとみ、伊藤俊広、川口玲、田邊嘉也、羽柴知恵子、横幕能行、山田三枝子、上田幹夫、下司有加、白阪琢磨、鍵浦文子、藤井輝久、城崎真弓、山本政弘、岡慎一、若林チヒロ：ブロック拠点病院と ACC における「健康と生活調査」－就労と職場環境－。第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会、大阪、2014 年 12 月

生島嗣、岡本学、池田和子、渡部恵子、遠藤知之、伊藤ひとみ、伊藤俊広、川口玲、田邊嘉也、羽柴知恵子、横幕能行、高山次代、上田幹夫、下司有加、白阪琢磨、木下一枝、藤井輝久、城崎真弓、山本政弘、岡慎一、若林チヒロ：ブロック拠点病院と ACC における「健康と生活調査」－薬物使用の状況－。第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会、大阪、2014 年 12 月

大北全俊、遠矢和希、加藤穰、Franziska Kasch、花井十伍、横田恵子、白阪琢磨：倫理 /ethics に求められてきたもの－海外での HIV/AIDS に関する倫理的議論の歴史的調査より。第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会、大阪、2014 年 12 月

白阪琢磨、岡慎一、川戸美由紀、橋本修二、日笠聡、福武勝幸、吉崎和幸、八橋弘：血液製剤による HIV 感染者の調査成績第 1 報 CD4 値、HIV-RNA 量と治療の現状と推移。第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会、大阪、2014 年 12 月

若林チヒロ、池田和子、岡本学、渡部恵子、遠藤知之、伊藤ひとみ、伊藤俊広、川口玲、田邊嘉也、羽柴知恵子、横幕能行、高山次代、上田幹夫、下司有加、白阪琢磨、木下一枝、藤井輝久、城崎真弓、山本政弘、岡慎一、生島嗣：ブロック拠点病院と ACC にお

ける「健康と生活調査」－基本的属性と感染判明後の生活変化－。第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会、大阪、2014 年 12 月

椎野禎一郎、服部純子、瀧永博之、吉田 繁、上田敦久、石ヶ坪良明、近藤真規子、貞升健志、横幕能行、古賀道子、上田幹夫、田邊嘉也、渡邊 大、森 治代、南 留美、健山正男、杉浦 互：国内感染者集団の大規模塩基配列解析 5：MSM コミュニティへのサブタイプ B 感染の動態。第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会、大阪、2014 年 12 月

伊熊素子、渡邊 大、廣田和之、小川吉彦、矢嶋敬史郎、笠井大介、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨：抗 HIV 療法中に関節炎性乾癬を発症した 1 例。第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会、大阪、2014 年 12 月

矢永由里子、小島勇貴、永井宏和、岩崎奈美、加藤真樹子、味澤篤、田沼順子、萩原將太郎、上平朝子、岡田誠治：HIV 感染悪性腫瘍患者の終末期医療での心理職の関わりについて：現状と課題～国内アンケート調査と聞き取り調査をもとに～。第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会、大阪、2014 年 12 月

B-5

白阪琢磨：シンポジウム「エイズ治療薬の開発」エイズ治療薬の現状と問題点。第 62 回日本化学療法学会西日本支部総会/第 57 回日本感染症学会中日本地方会学術集会/第 84 回日本感染症学会西日本地方会学術集会合同開催、岡山、2014 年 10 月

矢嶋敬史郎：教育セミナー「大阪医療センターにおけるドルテグラビルの使用経験」。第 62 回日本化学療法学会西日本支部総会/第 57 回日本感染症学会中日本地方会学術集会/第 84 回日本感染症学会西日本地方会学術集会合同開催、岡山、2014 年 10 月

B-8

西田恭治、血友病保因者健診への提唱。Baxweb 公開セミナー、東京、2014 年 4 月

西田恭治、血友病をとりまく合併症－それらの現状と問題点－。血友病勉強会（東大医科研）、東京、2014 年 4 月

白阪琢磨：HIV/AIDS 基礎知識～医療と最新の治療について。大阪府 平成 26 年度 HIV/AIDS 基礎研修、大阪、2014 年 5 月

白阪琢磨：鳥居薬品株式会社「テノホビル製剤発売 10 周年記念座談会」、東京、2014 年 5 月

白阪琢磨：HIV 感染症の疫学。平成 26 年度 大阪大学医学部 環境医学・公衆衛生学実習、大阪、2014 年 5 月

渡邊 大：HIV 診断と急性感染。平成 26 年度 大阪大学医学部 環境医学・公衆衛生学実習、大阪、2014 年 5 月

笠井大介：ニューモシスチス肺炎。平成 26 年度 大阪大学医学部 環境医学・公衆衛生学実習、大阪、2014 年 5 月

伊熊素子：抗酸菌症。平成 26 年度 大阪大学医学部 環境医学・公衆衛生学実習、大阪、2014 年 5 月

矢嶋敬史郎：KS カポジ肉腫、HIV 脳症と PML。平成 26 年度 大阪大学医学部 環境医学・公衆衛生学実習、大阪、2014 年 5 月

白阪琢磨：HIV 陽性者の人権問題「HIV と AIDS、HIV をとりまく現状とその課題について」。大阪府人権総合講座 人権総合相談員養成（基礎）コース、大阪、2014 年 6 月

白阪琢磨：HIV の基礎知識～大阪医療センターの現状～。泉州感染防止ネットワーク合同カンファレンス、大阪、2014 年 6 月

白阪琢磨：HIV の最新治療。厚生科研エイズ対策研究事業 第 8 回 HIV サポートリーダー養成研修、大阪、2014 年 6 月

上平朝子：CRE アウトブレイクの実際。平成 26 年度国公立大学附属病院感染対策協議会ブロック別研修会（関西地区）、大阪、2014 年 6 月

西田恭治、「血友病保因者支援に向けて－確定・推定保因者のサポート」。第 10 回阪神ヘモフィリア研究会、大阪、2014 年 6 月

笠井大介：HIV/AIDS の基礎知識。厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策研究事業）訪問看護師研修会、大阪、2014 年 6 月

小川吉彦：悪性腫瘍、針刺し予防。平成 26 年度 大阪大学医学部 環境医学・公衆衛生学実習、大阪、2014 年 6 月

西田恭治：薬害エイズ。平成 26 年度 大阪大学医学部 環境医学・公衆衛生学実習、大阪、2014 年 6 月

白阪琢磨：テレビケイ座談会「HIV 感染症治療ガイドラインを考察する」、VIEWヘル

スケア株式会社主催、東京、2014年7月

上平朝子：感染症コース「HIV 感染症」。関西医科大学3学年講義、大阪、2014年7月

渡邊 大：HIV/AIDS の基礎知識。平成26年度 HIV/AIDS 看護師研修、大阪、2014年7月

上平朝子：女性と HIV。平成26年度 大阪大学医学部 環境医学・公衆衛生学実習、大阪、2014年7月

笠井大介：大阪医療センターに於ける HIV 感染症に合併する肝炎の現状。第7回近畿 HIV FRONTIER 研究会、大阪、2014年7月

西田恭治：血友病の子どもの日常生活について。小児慢性特定疾患（血友病）学習会、大阪、2014年8月

西田恭治：血友病の病態と治療-血友病 B に重点を置いて-。血友病 B に関する講演会、大阪、2014年8月

白阪琢磨：地方独立行政法人神戸市民病院機構神戸市立医療センター中央市民病院感染管理室主催講演会、神戸、2014年9月

白阪琢磨：HIV エイズに関する基礎知識。平成26年度 高齢者等介護施設のための HIV/エイズ研修会（厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業分担研究、大阪府）、大阪、2014年9月

白阪琢磨：HIV 陽性者の人権問題。八尾市人権教育・啓発プランに基づく職員研修、大阪、2014年9月

白阪琢磨：HIV 感染症の最新治療。特定非営利活動法人ネットワーク医療と人権 北陸ブロック医療等相談会、福井、2014年9月

白阪琢磨：HIV 感染症/AIDS のブロック拠点病院での診療経験から～一般診療から職業曝露後対策まで～」。市立貝塚病院院内研修会、大阪、2014年9月

矢嶋敬史郎：簡単に分かるエイズ診療。平成26年度四国地方の診療医師及びスタッフのための HIV 講習会、高松、2014年9月

白阪琢磨：疫学と抗 HIV ガイドライン。平成26年度 HIV 感染症研修会、大阪、2014年

9月

上平朝子：針刺し暴露後対策。平成26年度HIV感染症研修会、大阪、2014年9月

西田恭治：血友病診療・凝固因子製剤の使い方。平成26年度HIV感染症研修会、大阪、2014年9月

渡邊 大：HIV感染症の診断。平成26年度HIV感染症研修会、大阪、2014年9月

矢嶋敬史郎：日和見感染症（1）。平成26年度HIV感染症研修会、大阪、2014年9月

矢嶋敬史郎：日和見感染症（2）。平成26年度HIV感染症研修会、大阪、2014年9月

小川吉彦：日和見感染症（3）。平成26年度HIV感染症研修会、大阪、2014年9月

白阪琢磨：HIV/AIDS について～HIV 感染症は高血圧や糖尿病の様な慢性疾患です～。
HIV 陽性者地域支援啓発事業 HIV/AIDS 学習会、池田、2014年10月

白阪琢磨：HIV の最新治療。厚生科研エイズ対策研究事業 第9回HIVサポートリーダー養成研修、大阪、2014年10月

白阪琢磨：HIV/AIDS に関する基礎知識。能勢町居宅介護支援専門員連絡会研修会、兵庫、2014年10月

白阪琢磨：HIV 感染症/AIDS の診療について。第一東和会病院院内感染対策委員会主催講演会、大阪、2014年10月

白阪琢磨：透析医療における HIV 感染症との関わり方～現状と将来展望について～。
透析療法ネクスト XIX 誌上座談会、東京、2014年10月

白阪琢磨：HIV の基礎知識。市立岸和田市民病院院内感染対策研修会、大阪、2014年10月

西田恭治、血友病をとりまく近年の課題－エイジングケアへの対応と保因者健診を中心に－。第11回ヘモフィリアカンファレンス in 沖縄、沖縄、2014年10月

白阪琢磨：医療機関等における HIV 対応－職業ばく露後 HIV 予防対策ガイドライン改訂について。一般社団法人大阪府医師会主催「HIV 医療研修会」、大阪、2014年11月

白阪琢磨：現代的健康課題について。平成 26 年度新規採用養護教諭研修、大阪、2014 年 11 月

西田恭治、保因者健診のすすめーそこから学ぶ専門医との連携ー。近畿ブロック医療等相談会、和歌山、2014 年 11 月

笠井大介：HIV/AIDS の基礎知識。厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策研究事業）介護・福祉職研修会、千葉、2014 年 11 月

上平朝子：免疫再構築症候群（IRIS）。平成 26 年度 HIV 感染症医師実地研修会(1 ヶ月コース)、大阪、2014 年 10 月

渡邊 大：HIV 急性感染。平成 26 年度 HIV 感染症医師・看護師実地研修会(1 ヶ月コース)、大阪、2014 年 10 月

笠井大介：非感染性疾患、生活習慣病。平成 26 年度 HIV 感染症医師・看護師実地研修会(1 ヶ月コース)、大阪、2014 年 10 月

渡邊 大：抗 HIV 療法の変更と薬剤耐性。平成 26 年度 HIV 感染症医師実地研修会(1 ヶ月コース)、大阪、2014 年 10 月

矢嶋敬史郎：日和見感染症診断（カンジダ症、クリプトコッカス症）。平成 26 年度 HIV 感染症医師実地研修会(1 ヶ月コース)、大阪、2014 年 10 月

矢嶋敬史郎：日和見感染症診断（HIV 脳症、PML）平成 26 年度 HIV 感染症医師実地研修会(1 ヶ月コース)、大阪、2014 年 10 月

小川吉彦：日和見感染症（カポジ肉腫）。平成 26 年度 HIV 感染症医師実地研修会(1 ヶ月コース)、大阪、2014 年 10 月

伊熊素子：日和見感染症診療（抗酸菌症）。平成 26 年度 HIV 感染症医師実地研修会(1 ヶ月コース)、大阪、2014 年 10 月

廣田和之：STD（性行為感染症）の診療。平成 26 年度 HIV 感染症医師・看護師実地研修会(1 ヶ月コース)、大阪、2014 年 10 月

白阪琢磨：HIV 感染症の疫学。平成 26 年度奈良県立医科大学健康政策医学実習、大阪、2014 年 11 月

上平朝子：HIV 感染症の基礎知識。平成 26 年度奈良県立医科大学健康政策医学実習、大阪、2014 年 11 月

西田恭治：血友病診断。平成 26 年度奈良県立医科大学健康政策医学実習、大阪、2014 年 11 月

渡邊 大：HIV 感染症の診断。平成 26 年度奈良県立医科大学健康政策医学実習、大阪、2014 年 11 月

笠井大介：HIV と呼吸器感染症。平成 26 年度奈良県立医科大学健康政策医学実習、大阪、2014 年 11 月

矢嶋敬史郎：カポジ肉腫。平成 26 年度奈良県立医科大学健康政策医学実習、大阪、2014 年 11 月

小川吉彦：悪性リンパ腫。平成 26 年度奈良県立医科大学健康政策医学実習、大阪、2014 年 11 月

伊熊素子：HIV と結核。平成 26 年度奈良県立医科大学健康政策医学実習、大阪、2014 年 11 月

廣田和之：HIV の眼疾患/CMV。平成 26 年度奈良県立医科大学健康政策医学実習、大阪、2014 年 11 月

西田恭治：血友病診療・凝固因子製剤の使い方。平成 26 年度エイズ中核拠点病院連絡調整員研修、大阪、2014 年 11 月

渡邊 大：急性 HIV 感染。平成 26 年度エイズ中核拠点病院連絡調整員研修、大阪、2014 年 11 月

廣田和之：STD（性行為感染症）の診断。平成 26 年度エイズ中核拠点病院連絡調整員研修、大阪、2014 年 11 月

白阪琢磨：HIV 感染症・治療。大阪赤十字看護専門学校「成人看護学IV援助論 2」講義、大阪、2014 年 12 月

白阪琢磨：HIV について。長浜バイオ大学バイオサイエンス学部アニマルバイオサイエンス学科「感染生物学」講義、滋賀、2014 年 12 月

白阪琢磨：公衆衛生看護学 I。大阪府立大学、大阪、2014 年 12 月

西田恭治、「現在の血友病治療と今後考えられる治療」「遺伝について・・・保因者診断など」。平成 26 年度たんぽぽの会交流会、京都、2014 年 12 月

笠井大介：HIV/AIDS の基礎知識。厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策研究事業）訪問看護師研修会、神戸、2014 年 12 月

西田恭治、ナース目線から血友病診療の落とし穴。ベネフィクス発売 5 周年記念講演会、東京、2015 年 1 月

西田恭治、運営事項に対する検討（討論）。「西日本血友病 B 研究会」に関わる世話人会、東京、2015 年 1 月

矢嶋敬史郎：HIV 感染症における長期療養を支えるチーム医療。東北エイズ/HIV 臨床カンファレンス、仙台、2015 年 1 月

白阪琢磨：パネルディスカッション「HIV/AIDS 治療における STR の臨床的意義。The Latest Treatment of HIV/AIDS 2015 The new era backed by STR-」、大阪、2015 年 2 月

白阪琢磨：HIV の最新の情報等について。高知県医師会 HIV 医療講習会、高知、2015 年 2 月

白阪琢磨：HIV 陽性者の一般診療における留意点について、大阪府医師会 HIV 地域医療連携研修会、大阪、2015 年 2 月

上平朝子：カルバペネム耐性腸内細菌（CRE）のアウトブレイク対応。ICD 制度協議会公開セミナー、東京、2015 年 2 月

西田恭治、血友病について。和歌山血友病研究会、和歌山、2015 年 2 月

笠井大介：日常診療に役立つ HIV 感染症の基礎知識。第 110 回一般社団法人大阪府耳

鼻咽喉科医会研修会、大阪、2015年2月

矢嶋敬史郎：HIV感染症の基礎知識。厚生労働科学研究費補助金(エイズ対策研究事業)
HIV感染症と精神科医療に関する研修会、大阪、2015年2月

伊熊素子：免疫不全が遷延し、日和見感染症を繰り返す一例。関西 HIV 臨床カンファレンス 第6回 HIV/AIDS 診療スキルアップセミナー、大阪、2015年2月

白阪琢磨：透析医療者のための HIV 感染症の知識。医療法人光寿会研究発表会、名古屋、2015年3月

白阪琢磨：輸血療法と HIV について。第15回輸血療法委員長会議、大阪、2015年3月

西田恭治、保因者健診のすすめ-保因者（推定保因者を含む）が健やかに過ごすために。近畿ブロック医療等相談会、大阪、2015年3月

西田恭治、血友病定期補充療法の課題と対策。九州沖縄血友病ネットワークセミナー2015、福岡、2015年3月

矢嶋敬史郎：最近あの人きてないね？～チーム医療のコツ。平成26年度奈良県エイズ拠点病院研修会、奈良、2015年3月

B-9

白阪琢磨：中高年を襲う”いきなりエイズ”忘れるな!AIDS 最前線。テレビ朝日「ビートたけしのTVタックル」、東京、2014年10月